

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会

### 電波利用環境委員会 CISPR H 作業班(第 13 回)

#### 議事要旨

1 開催日時：令和 4 年 9 月 1 日（木）13:00～15:00

2 開催場所：Web 会議開催 (Cisco Webex)

3 出席者（敬称略）

【構成員】松本主任 (NICT)、雨宮主任代理 (VCCI)、井上構成員 (JEMA)、長部構成員 (VCCI)、久保構成員 (NHK)、後藤構成員 (NICT)、島先構成員 (VCCI)、高谷構成員 (NTT)、田島構成員 (NTT-AT)、徳田構成員 (東京大学)、永野構成員 (EMCC)、前川構成員 (ダイキン工業)、三塚構成員 (TELEC)

【関係者】久保田関係者 (TELEC)、山中関係者 (NICT)

【事務局】総務省：島田電波利用環境専門官、伊藤電波監視官、下谷電磁障害係長、木村官

#### 議事要旨

##### （１）CISPR H 小委員会 WG 等 国際会議審議結果 WG1 について

島先構成員より資料 13-1-1 に基づき説明が行われ、以下の質疑があった。

田島構成員：JWG6 はどのグループとの共同作業班か。

前川構成員：SC77A とのジョイントグループ(共同作業班)で、9-150kHz 間のエミッション規格を定めている。

##### （２）CISPR H 小委員会 WG 等 国際会議審議結果 WG8

松本主任より資料 13-1-2 及び 13-2-2 に基づき説明が行われた。

##### （３）CISPR H 小委員会 WG 等 国際会議審議結果 JWG6 について

前川構成員より資料 13-1-3 及び 13-2-3 に基づき説明が行われ、以下の質疑があった。

山中関係者：JWG6 が担当している IEC61000-6-3 の 9-150kHz 間のエミッション規格

(Fragment2)は、単独で CDV を回付するのか。WG1 の報告では審議されている

Fragment1 及び Fragment3, 4 とまとめて回付するように言っていたが、どのような計画なのか。

前川構成員：JWG6 の作業は他作業班より進捗が早く、現在、CDV の回付が決定しているが、どのような形で回付されるかまでは未定である。WG1 のコンビナーも JWG6 に参加し

ているため、進捗については理解しているはずである。

島先構成員：WG1においては、注釈についてJWG6から報告があり了承している。10月にはFragment1から4までをまとめてCDVに進む予定である。

#### (4) CISPR 会議 H小委員会 対処方針(案)について

松本主任より資料 13-2-1 に基づき説明が行われ、以下の質疑があった。

前川構成員：IEC61000-6-3の改訂について、現在4つのFragmentの進捗に差があり、特にFragment3、4は審議が長引く事が予想される。進捗の早いものについて、先にCDVを回付し、遅れるものについて後でAmendmentを出すような場合もあるのか。

松本主任：私個人としては、進みの早いFragment1、2は先にCDVとして回付し、残りは後にAmendmentで追補する形が良いと考えているが、他の委員の方の意見もうかがいたい。

島先構成員：本提案に賛同する。今回の、まとめてCDVにしたいという意見の真意をつかみきれていないが、進捗の早いものから作業するのが良いと思う。

久保田関係者：基本的には本提案に賛同する。まとめてCDVにしたいという意見は、B小委員会のCISPR 11での議論が関係しているのではないかと思う。ただ、CISPR 11と違い、IEC61000-6-3に関しては分割してCDVにする事は問題ないように思える。

松本主任：異論はないようなので、全部のFragmentを待たずに進捗の早いものからCDV回付する方針を支持する対処としたい。

#### (5) 電波利用環境委員会 報告書(案)について

松本主任より資料 13-3-1 及び 13-3-2 に基づき説明が行われた。

#### (6) CISPR 会議 出席者(案)について

松本主任より資料 13-4 に基づき説明が行われた。

#### (7) その他

特段意見なし。

以上